

2020年3月期 第3四半期決算 IR説明用資料



株式会社オートバックスセブン

2020年1月31日

注：当社は第3四半期において決算説明会を行っておりません。
この資料は、決算をよりご理解いただくために、参考までに作成している資料です。

2020年3月期3Q累計 連結損益計算書



増収増益：売上高および売上総利益が増加し、営業利益が前年を上回る
 3Qにおいては消費増税に伴う反動減に加え、暖冬の影響により冬季商品が低調だったものの、累計では引き続きオートバックス事業のみならず、海外事業、ディーラー・BtoB・ネット事業も売上総利益が増加。一方で、FC加盟法人の子会社化などにより販管費が増加したものの、累計では営業利益は前年実績を大幅に上回った。

(単位：億円)

	2020年3月期 3Q累計			2019年3月期 3Q累計	
	実績	売上比	前年比	実績	前年比
連結売上高	1,766	—	+6.5%	1,659	+0.5%
売上総利益	562	31.8%	+8.4%	518	▲1.7%
販管費	473	26.8%	+5.9%	446	▲0.2%
営業利益	88	5.0%	+24.2%	71	▲10.0%
営業外収支	6	0.3%	▲23.5%	7	+54.2%
経常利益	94	5.4%	+19.5%	79	▲6.1%
親会社株主帰属利益	62	3.5%	+33.7%	46	▲11.9%

表示単位未満は切り捨て
 対売上比・前年比は円単位で計算

2020年3月期 对外発表数値



(単位：億円)

	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q (通期予想-3Q累計)	通期 (予想)
連結売上高	505	605	656	463	2,230
前年比	+3.0%	+24.9%	▲4.0%	▲3.3%	+4.3%
売上総利益 (売上総利益率)	162 (32.1%)	192 (31.9%)	206 (31.5%)	143 (30.1%)	706 (31.7%)
前年比	+10.5%	+19.7%	▲1.6%	▲8.6%	+4.5%
販管費	150	160	162	152	626
前年比	+4.3%	+7.8%	+5.6%	▲1.0%	+4.2%
営業利益	12	32	44	▲8	80
前年比	+325.3%	+164.3%	▲21.5%	—	+7.0%
経常利益	13	33	47	▲7	87
親会社株主帰属純利益	8	20	34	▲4	58
既存店売上前年比	+5.0%	+17.5%	▲11.6%	▲1.0%	+1.3%

表示単位未満切り捨て
対売上比・対前年比は円単位で算出

2020年3月期3Q累計 報告セグメント情報



(単位：百万円)

		2020年3月期 3Q累計	2019年3月期 3Q累計	前年比	総括
国内オートバックス 事業	総売上高	144,739	140,328	+3.1%	消費増税やメーカー値上げがあったものの、タイヤの小売累計は前年並み。ドライブレコーダーは好調を維持し売上高・売上総利益が増加。FC加盟法人の子会社化に伴い販管費は増加も、大幅増益。
	売上総利益	45,297	42,765	+5.9%	
	販管費	32,102	30,447	+5.4%	
	営業利益	13,194	12,317	+7.1%	
海外事業	総売上高	9,207	8,402	+9.6%	2018年10月豪州の卸売会社の子会社化や、中国国内などでの卸売上増加、シンガポールで整備事業者を子会社化、タイでの新規出店により売上高増加し、営業損失縮小。
	売上総利益	4,288	4,107	+4.4%	
	販管費	4,442	4,707	▲5.6%	
	営業利益	▲154	▲599	-	
ディーラー・BtoB ・ネット事業	総売上高	29,395	22,275	+32.0%	ディーラー事業の売上増加に加え、BtoB事業における卸売事業子会社の収益改善が寄与し、黒字化。
	売上総利益	6,035	4,405	+37.0%	
	販管費	5,882	5,189	+13.3%	
	営業利益	152	▲784	-	
その他の事業	総売上高	1,615	1,695	▲4.7%	前年と比較して大きな変化なし。
	売上総利益	588	558	+5.3%	
	販管費	240	262	▲8.0%	
	営業利益	347	296	+17.0%	
調整額	営業利益	▲4,668	▲4,088	-	

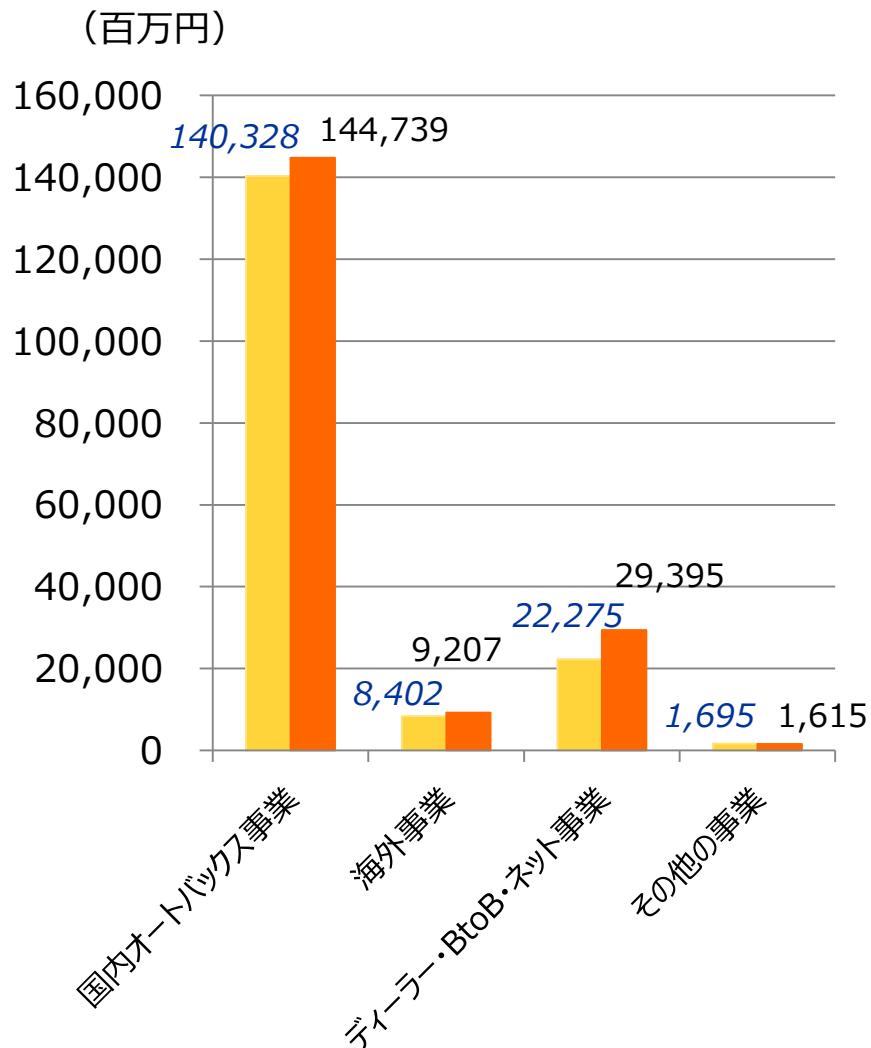
総売上高：セグメント間の取引を消去する前の数値

※表示単位未満切り捨て 前年比は円単位で計算

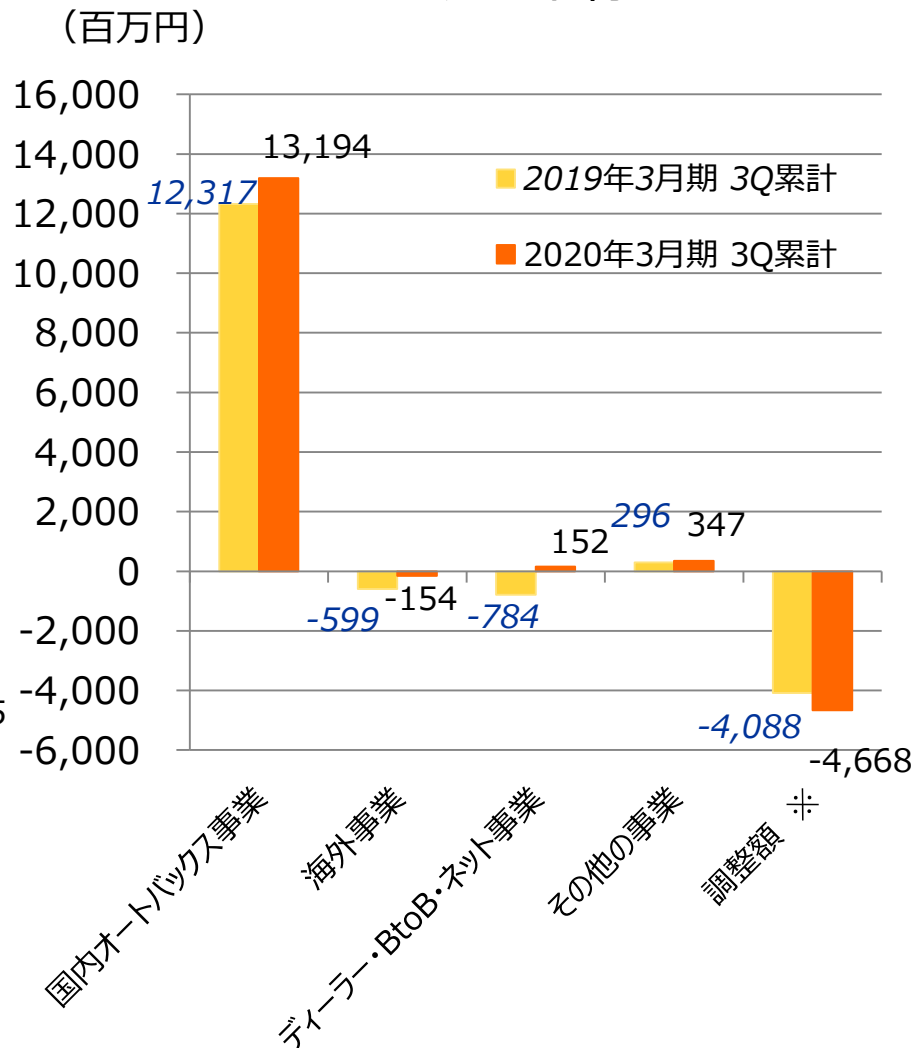
報告セグメント別売上および利益



総売上高



セグメント利益



表示単位未満切り捨て
セグメント間の取引を消去する前の数値

※ 各報告セグメントに配分していない全社経費であり、主に一般管理費

(参考) 2020年3月期3Q累計 単体・国内店舗子会社



(単位：百万円)

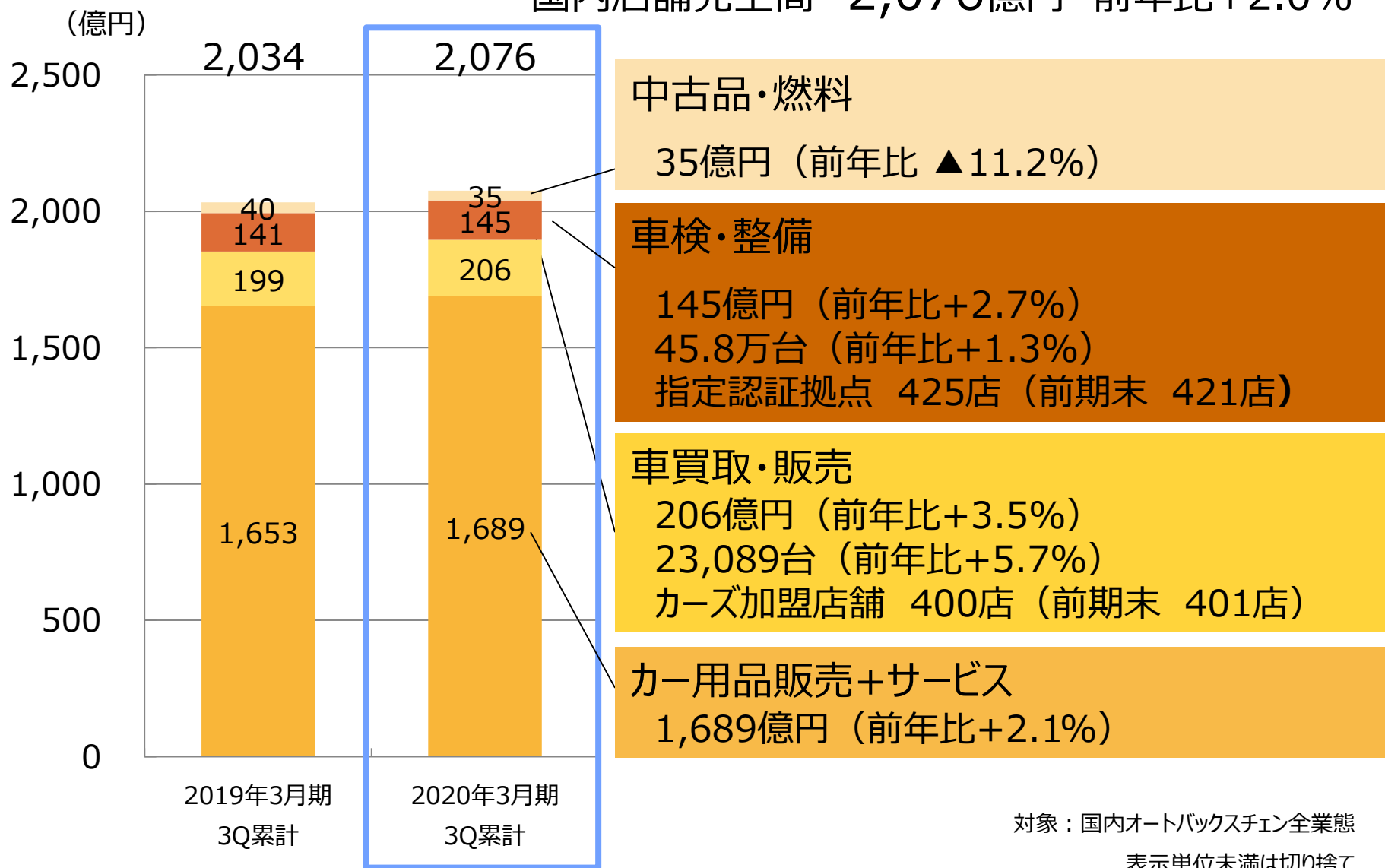
	単体		国内店舗子会社	
	実績	前年比	実績	前年比
売上高	128,934	+4,390	43,348	+2,859
売上総利益 (%)	27,531 (21.4%)	+1,308 (+0.3pt)	18,616 (42.9%)	+1,581 (+0.8pt)
販管費	21,177	+971	16,826	+1,176
営業利益	6,353	+337	1,789	+404
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・増収増益 ・暖冬の影響によりタイヤ・ホイールは前年を下回ったものの、カーエレクトロニクスの好調により、粗利が改善 ・物流費の高騰や消費増税対応のためのシステム費発生などにより販管費全体では増加 		<ul style="list-style-type: none"> ・増収増益 ・FC加盟法人の子会社化に伴い売上・粗利・販管費が増加 ・車検などサービス売上の好調が寄与し粗利率改善 	

表示単位未満は切り捨て
対売上比・前年比は円単位で計算

2020年3月期3Q累計 国内全店舗売上高



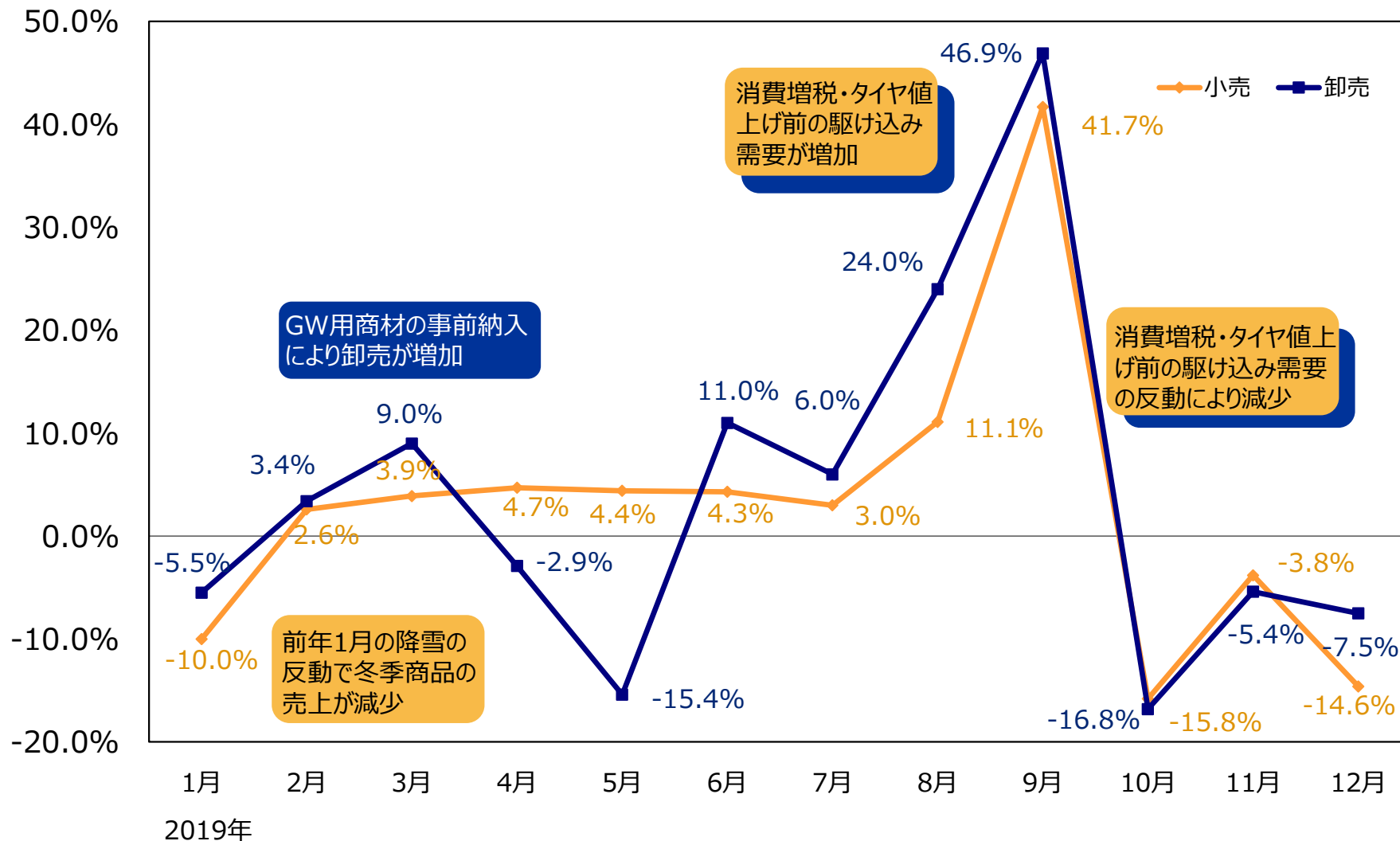
国内店舗売上高 2,076億円 前年比+2.0%



小売売上および卸売売上の月次トレンド



小売売上・卸売売上 前年比の推移

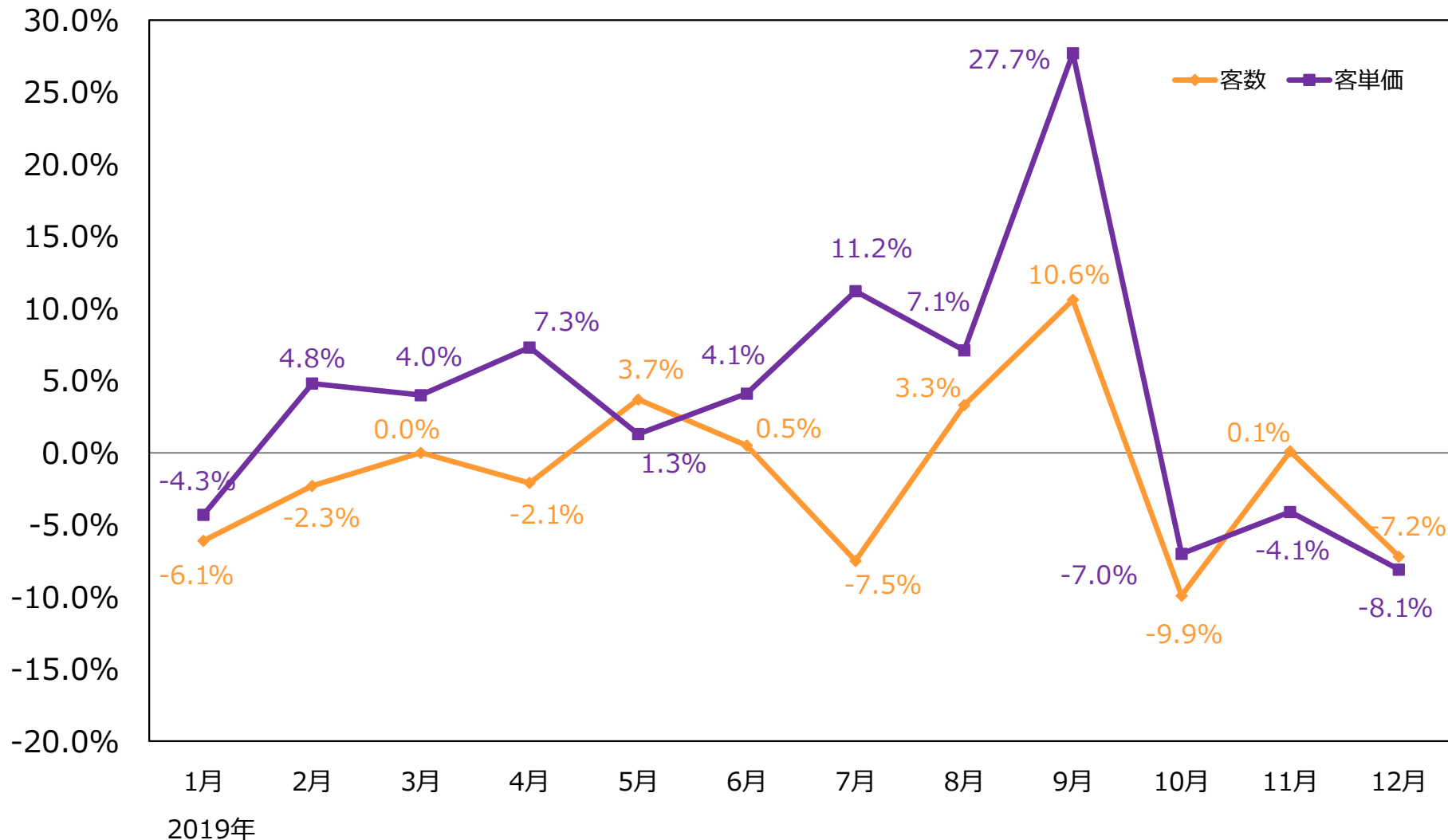


対象：国内オートバックスチェーン全業態
 ※卸売は単体の卸売実績

客数／客単価の推移



客数／客単価 既存店前年比の推移



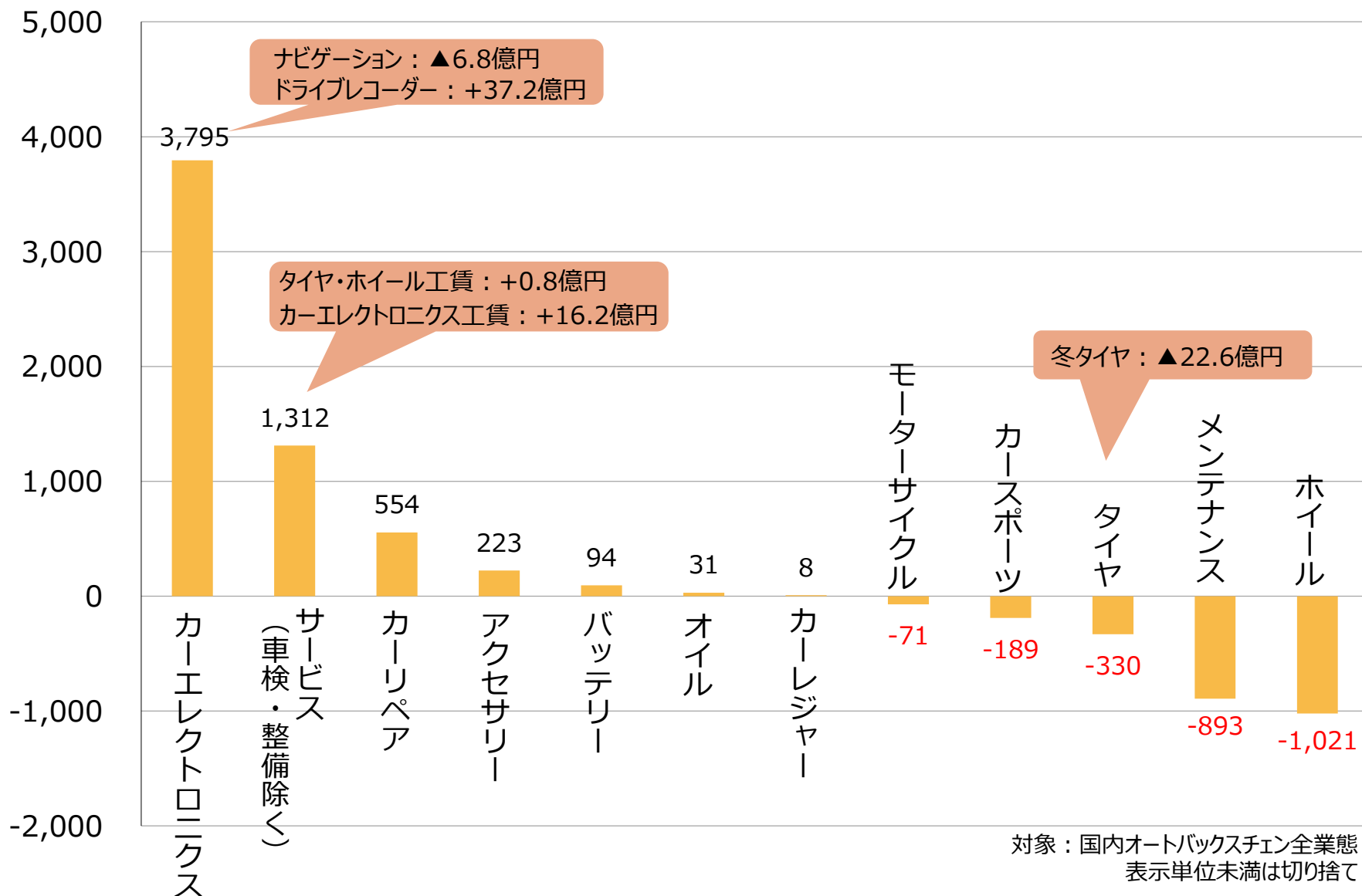
対象：国内オートバックスチェーン全業態

2020年3月期3Q累計 カー用品 商品別売上増減額



商品別 小売売上高増減額 (前年比 全店ベース)

(百万円)



対象：国内オートバックスチェーン全業態
表示単位未満は切り捨て

2020年3月期3Q累計 車買取・販売 売上実績



業販

内訳	売上台数
本部へ売却	2,198台
本部へ売却を委託	3,700台
店舗から直接	8,364台
業販合計	14,262台

小売

内訳	売上台数
中古車	5,688台
新車	3,139台
小売合計	8,827台

台数合計 23,089台

前年比 +5.7%

※車買取専門店を含む全ての店舗における台数

出退店の実績



国内	19/3 末	2020年3月期							20/3 末
		3Q累計 (実績)			19/12 末	4Q (計画)			
		新店	S&B R/L	退店		新店	S&B R/L	退店	
オートバックス	493	+2	+2/▲2	▲3	492	+1		▲2	491
スーパーオートバックス	74				74				74
オートバックスセコハン市場	7				7				7
オートバックスエクスプレス	11				11				11
オートバックスカーズ	8			▲5	3				3
国内計	593	+2	+2/▲2	▲8	587	+1		▲2	586

海外	19/3 末	2020年3月期			20/3 末
		3Q累計 (実績)	19/12 末	4Q (計画)	
フランス	11		11	▲1	10
タイ	15	+2	17		17
シンガポール	3		3		3
台湾	7	▲1	6		6
マレーシア	4		4	+1	5
インドネシア	3	▲1	2	+1/▲1	2
フィリピン	3		3		3
海外計	46	+2/▲2	46	+2/▲2	46

S/B : スクラップ&ビルド
R/L : リロケーション (業態転換含む)

2020年3月期3Q累計 海外子会社の状況



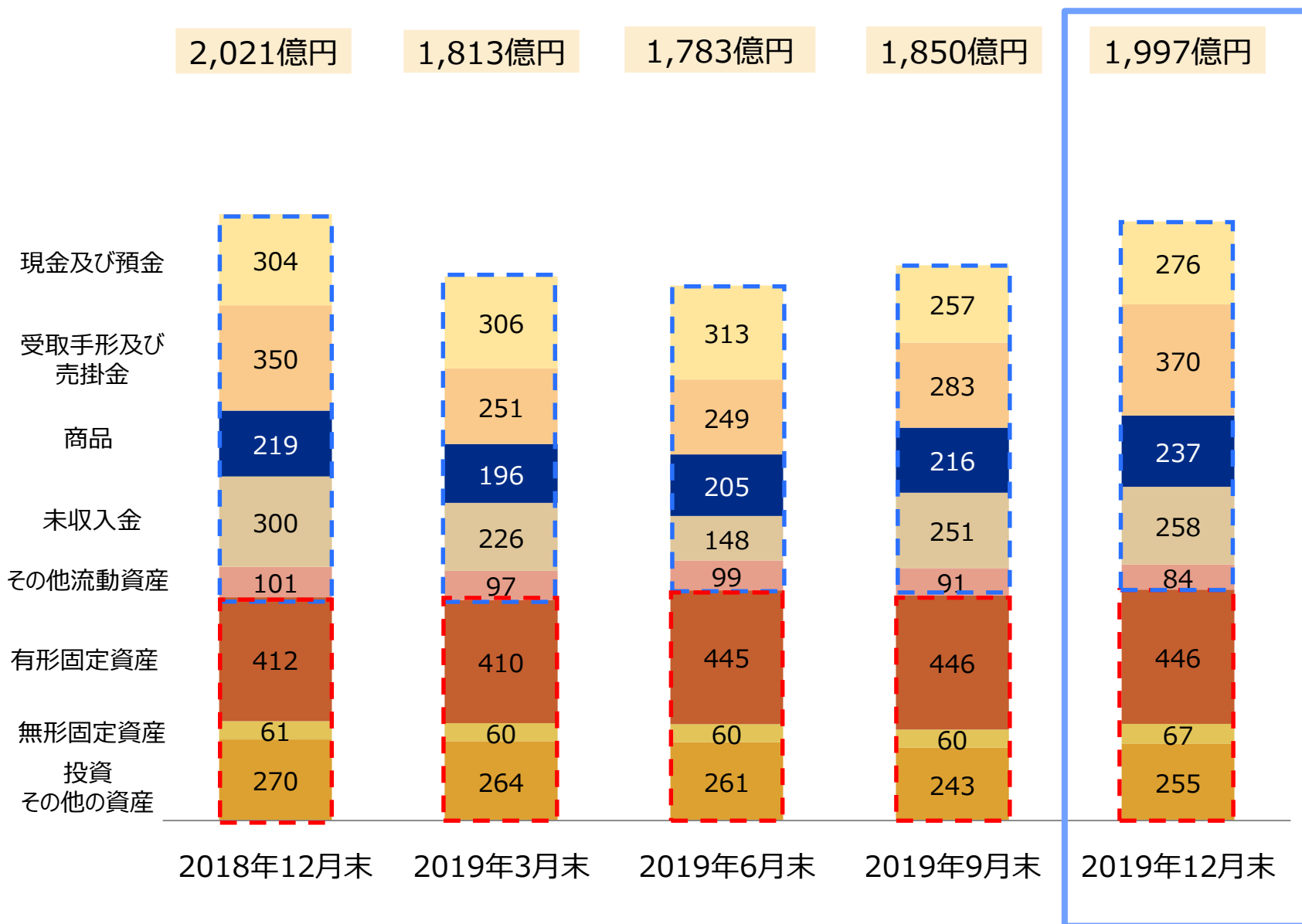
国別子会社の状況

(単位：百万円)

	フランス		タイ		シンガポール		中国		マレーシア		オーストラリア	
店舗数 (FC含む)	11		17		3		0		4		0	
期間	20/3 3Q	19/3 3Q	20/3 3Q	19/3 3Q	20/3 3Q	19/3 3Q	20/3 3Q	19/3 3Q	20/3 3Q	19/3 3Q	20/3 3Q	19/3 3Q
売上高	5,412	6,011	592	364	1,217	987	853	473	47	35	1,047	405
販管費	2,841	3,259	251	215	439	434	152	150	31	47	317	106
営業利益	30	▲74	▲70	▲101	116	12	26	26	▲14	▲32	16	29
状況	7月に1店舗を営業権譲渡したことなどにより売上が減少した一方で、広告宣伝費など経費削減により営業利益は増加。		小型店出店に伴い販管費が先行しているものの、売上増加により営業損失が縮小。また7月にPTGグループに1店舗譲渡を実施。		コンビニやハイパーマーケットへのPBメンテナンス商品を中心とした卸売が好調なことから、2019年11月にSK AUTOMOBILE社を連結対象子会社としたことにより売上と営業利益が増加。		PBオイルを中心とした中国国内向け卸売が大幅に増加。 2019年10月には愛車小屋グループへの追加出資により持分法適用関連会社とした。		ハイパーマーケット向け卸売が増加したことや、前期に実施した組織再編の効果もあり、営業損失が縮小。		2018年10月、AudioXtra社を新たに子会社化し、現地での卸売収益拡大を推進。	

表示単位未満切り捨て

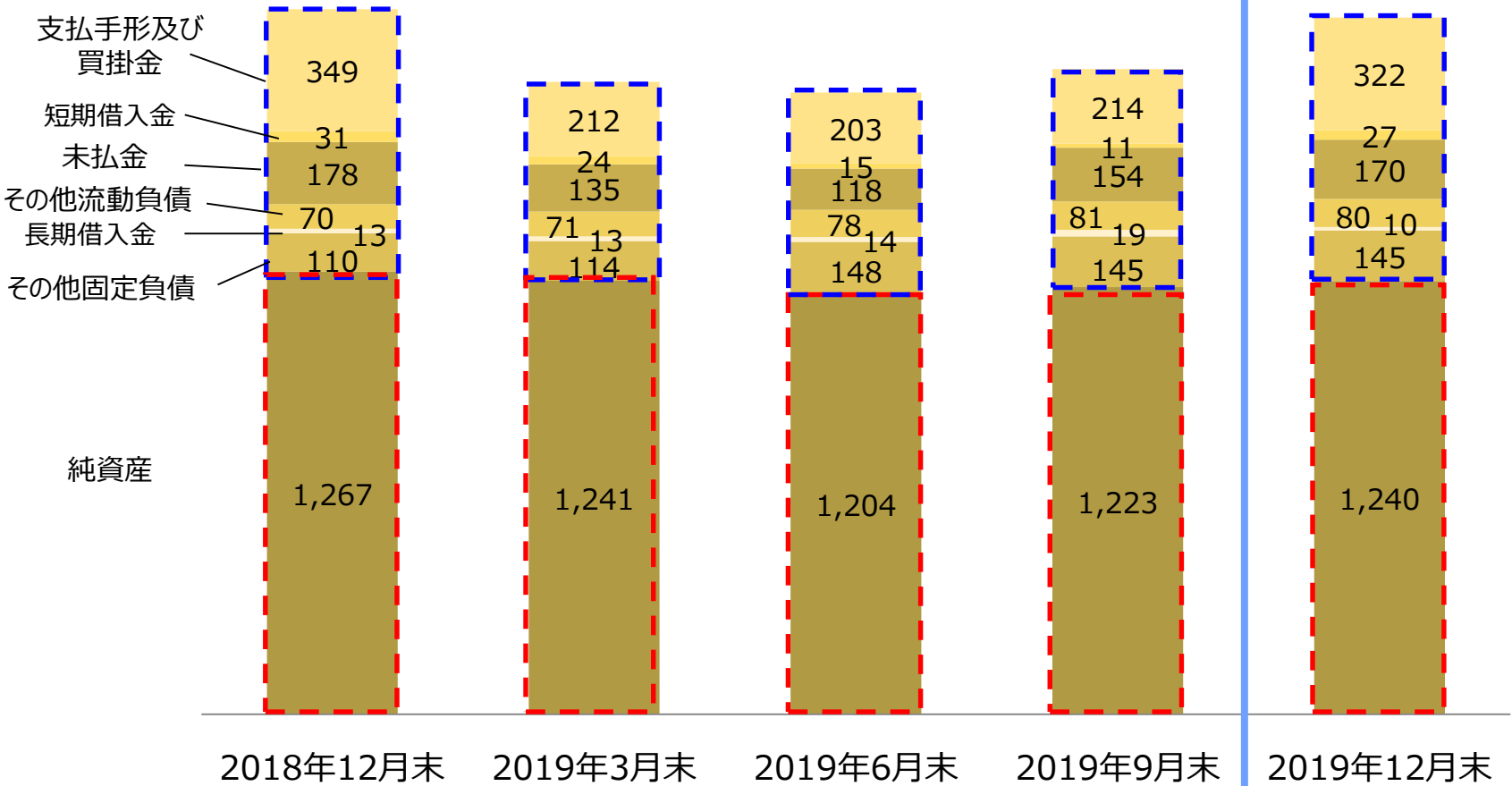
連結貸借対照表 資産の部



表示単位未満切り捨て

連結貸借対照表 負債・純資産の部

2,021億円 1,813億円 1,783億円 1,850億円 1,997億円

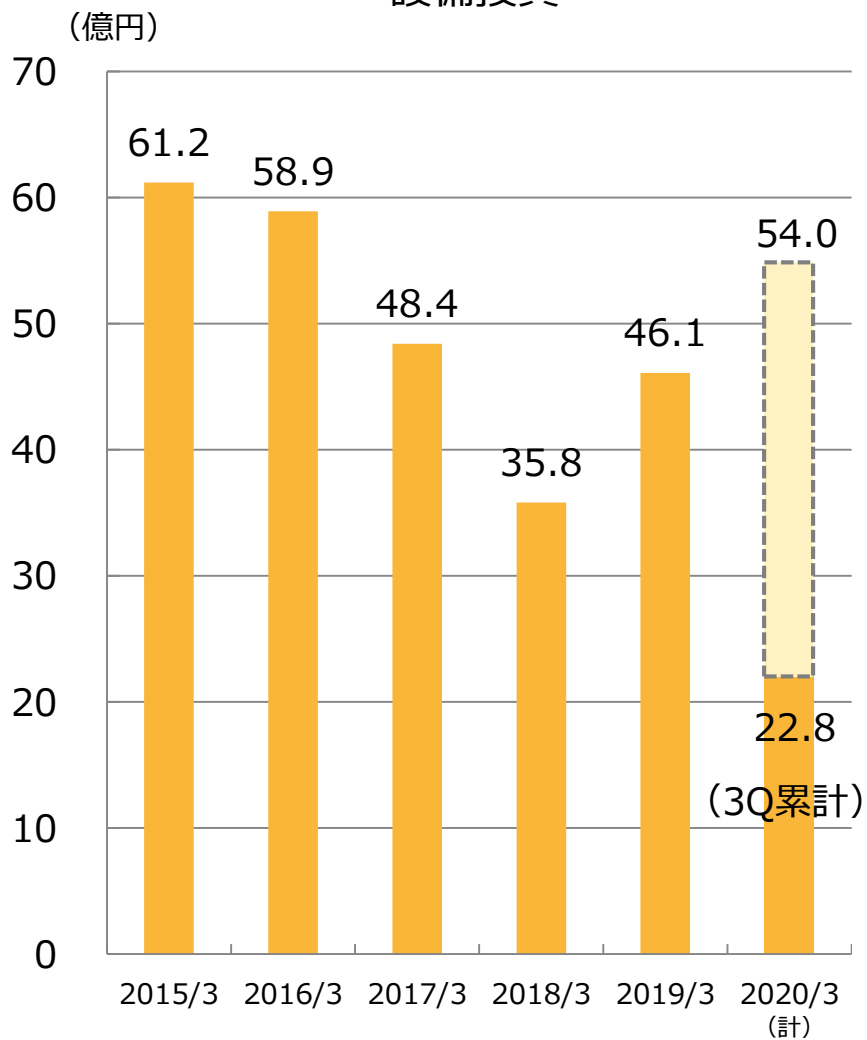


表示単位未満切り捨て

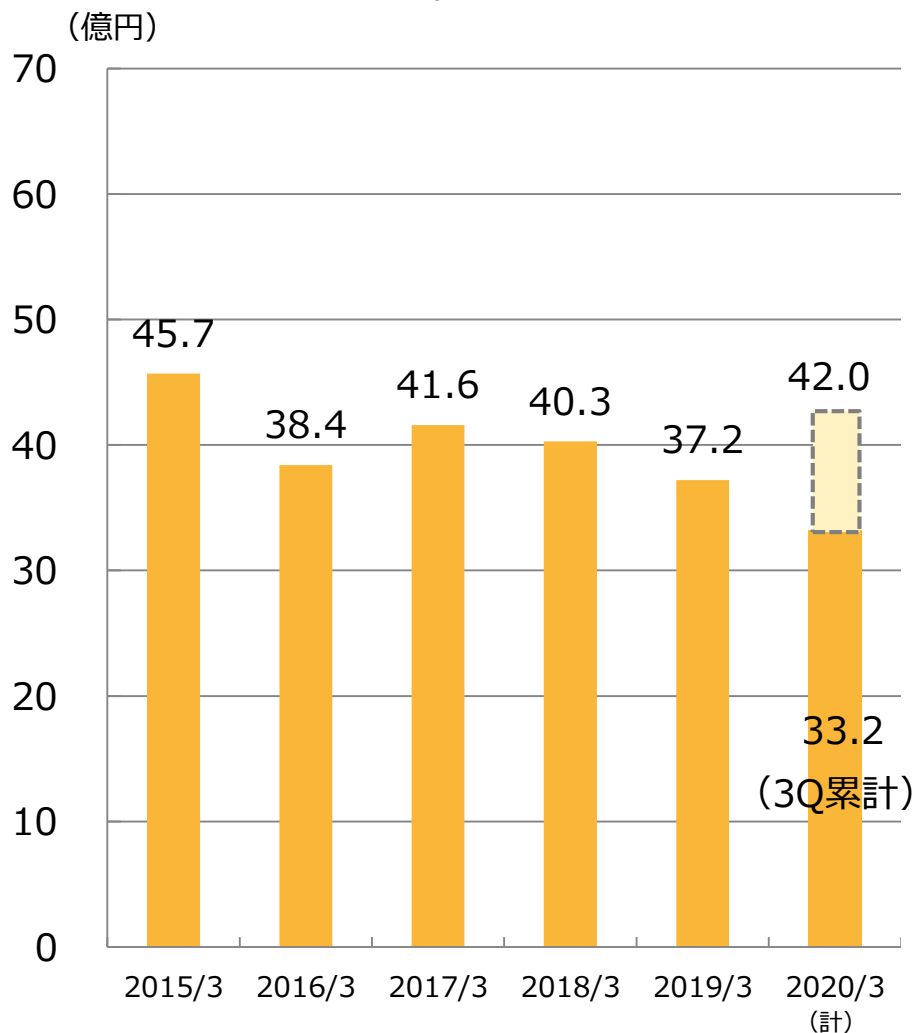
設備投資および減価償却費（連結）



設備投資



減価償却費





見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性があります。